

島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されている。日本海に面する島根半島の北及び西岸は、リアス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有している。人口は17万5220人、6万5181世帯(3月31日現在)である。

「多文化共生推進プラン」について
平成27年の国勢調査人口が17万1938人で、平成22年の国勢調査の人口よりも微増となった(島根県内唯一の増)。要因は、外国人住民の増(平成30年3月末4001人)によるところが大きく、近年ではブラジル国籍者(平成30年3月末2862人)が急増中とのこと。電子部品製造業を中心に好調な業績が続いている地元企業にとって、貴重な働き手として期待されており、この傾向は続く予想されている。

外国人住民の長期定着で地域の活性化を目的とした、「出雲市多文化共生推進プラン」を平成28年6月に策定された。外国人住民の増加に伴う様々な現状と課題を洗い出し、今後の具体的な取組方針を掲げられているが、住宅施策については、市長の方針もあり、あえて優遇政策をとっていない。また、増え続ける日系ブラジル人家族の就労支援を今後検討されている。

地元企業による外国人労働者の定

住促進のために市をあげて取り組まれている。本市でも問題となっている労働者不足を解決するため、外国人労働者の受け入れが不可欠となっている今、出雲市の取組みは大いに参考になった。

「耕作放棄地対策」について

荒廃農地利活用促進事業等、国の補助事業を活用し、担い手への農地利用集積や遊休農地の解消、耕作放棄地の再生に積極的に取り組まれている。また、今年度からは、山林化している農地(B分類)については、適宜非農地判断をされている。

また、遊休農地を外国人労働者(またはその家族)が耕作できないか相談があっているが、技術的な面を含め、現時点では進んでいない。今後、環境整備をしながら進めたいとのこと。

耕作放棄地対策については、市の単独事業は無く、国の補助事業を積極的に活用されている。また、耕作放棄地解消のため外国人労働者を活用した耕作に向けた環境整備を進められており、本市にとっても大いに参考になった。



島根県浜田市(産業経済委員会)

その他各委員会の活動

議会改革特別委員会

(議会改革特別委員会は議長を除く全議員で構成されています。)

11月9日に諫早市へ先進地視察を行いました。その内容は、

- ①議会基本条例の検証について
- ②議会でのタブレット端末の導入についてです。

諫早市では平成24年12月に議会基本条例が制定されました。諫早市議会議員に出席していただきお話を聞かせていただきました。現在、松浦市議会では議会基本条例は制定されておらず検討段階です。

また、諫早市議会ではタブレット端末を平成27年度から導入されております。事業の効果として

- ①議員活動の能率と利便性の向上
- ②議会事務(事務局・執行部)の効率化・省力化
- ③市民の利便性の向上及び情報公開の推進
- ④コスト削減

などが挙げられ、多くのメリットがあることから松浦市議会でもタブレット端末の導入を検討しております。

西九州自動車道整備促進特別委員会

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、11月19日に長崎県知事、長崎県議会議長に対し、同月27日に九州地方整備局長に対し、また同月29日、30日の両日に国土交通省、財務省及び自民党本部並びに長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成及び道路整備予算の安定的な財源確保について要望を行いました。



西九州自動車道整備要望活動